

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 9 日

仕 事 の 内 容	青少年問題協議会					
担当部署・課長名	青少年	課	青少年育成	係	課長名	新海隆弘

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施 策 番 号	1 - 3	-
【施策名】 青少年の健全育成	総 合 計 画 書 (ページ)	38	

予算名	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	1 社会教育総務費	事業	10 青少年問題協議会費
-----	---	--------	---	---------	---	-----------	----	--------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	児童(18歳未満) →	18歳未満の市民
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)
	健全に成長する。 →	青少年の健全育成に対する市民の満足度
	③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)
	東大和市青少年健全育成方針の作成 「子ども・若者育成支援強調月間」にあわせ啓発活動 善行青少年の表彰 →	健全育成方針策定のため、専門委員会を2回開催 月間中1回市内4箇所で啓発活動 表彰式1回

2 指標の推移		単 位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
	対象指標	①の数値	人		14,365	/	/
	成果指標	②の数値	人		14,365	/	/
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方					
	活動指標	③の数値	回		4	/	/

3 経費	事 業 費 (実績)		円		424,031	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財 源	一般財源	円		424,031	
		特定財源	円			
		(うち受益者負担)	円			
	人 件 費 (目 安)	所要人数(再任用以外)	人		0.1	
		所要人数(再任用)	人			
		職員人件費(再任用以外)	円		824,400	
職員人件費(再任用)		円				
事業費+人件費		円	0	0	1,248,431	

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。
	「地方青少年問題協議会法」に基づき、青少年をめぐる社会環境の浄化や地域社会における青少年の健全な育成を図ることを目的に、昭和37年10月に設置された。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。

仕 事 の 内 容	青少年問題協議会			
担当部署・課長名	青少年	課	青少年育成	係 課長名 新海隆弘

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）			
	取り組んだ	取組手法	①⑥	
			【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点			
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題			
8 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を維持する。		経費	仕事の経費は維持する。